

SOA NEWS

VOL-7 No. 10

1987. 11. 1

(通巻 第66号)

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内 TEL.0488-24-2711

サイクルOL大会 間近にせまる

近年サイクルスポーツが盛んに行われるようになりましたが、サイクルOL大会を下記の通り開催することになりました。申込期日が過ぎています。参加を希望する方は至急申込をしてください。

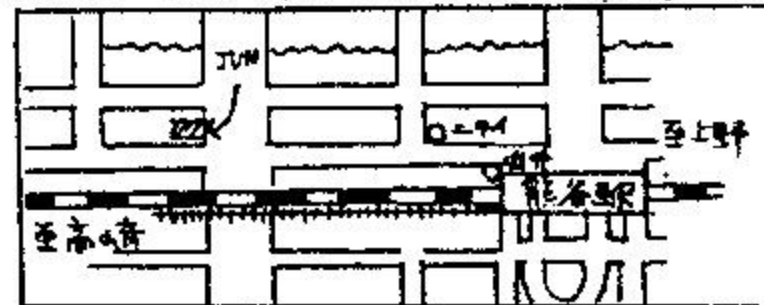
- 期日 昭和62年11月 8日(日)
会場 飯能市市民会館
日程 9:00 第一集合、9:30～ 埼玉
県レクリエーション大会参加
12:00 第二集合、12:30 受付
車検、13:00 出走
16:00 閉会式 解散
費用 会 員 1,000円(地図等)
非会員 1,500円(同上+保険)
競技方式 ポイントOL
コース 30km程度(標高差450m)
持ち物 自転車、筆記用具、工具、
雨具、各自必要とするもの
申込 申込用紙に必要事項を記入の上
至急協会事務局まで申し込
んで下さい。
その他 問い合わせは事務局まで。

年末懇親パーティ のご案内

各グループ間の交流と会員相互の親睦をはかり、年間の反省のもと新年の躍進を目指すことを目的とした恒例のSCA年末懇親パーティが下記の通り開催されます。会員各位の参加をお待しています。

- 日時 昭和62年12月 5日(土)
午後 6時30分～ 8時30分
会場 “JUN” 熊谷市弥生2丁目
加島屋ビル地下一階
TEL.0485-24-1106
会費 会 員 5,000円
非会員 6,500円
定員 40名
主管 県北支部(たじまCC、寄居
CC、秩父CTC)
申込 協会事務局か田島宅へ11月末
日までに申し込んで下さい。
※田島稔弘宅 TEL.0485-21-3072
(FAXも同じ番号です)

その他 問い合わせは事務局まで。



< 友好団体 >

“今、青春ネットワーク”

SAITAMA

ヤング・ジェネレーション '87

いよいよSAITAMAヤング・ジェネレーション '87が開催されます。

このイベントに埼玉県サイクリング協会も実行委員会のメンバーとして参加しています。係分担としては事業部を担当しています。会場のレイアウトやサークルへの参加の呼び掛け、プログラム等企画・運営を中心に事業部の仲間たちと一緒に仕事を行っています。また、埼玉県サイクリング協会はこのイベントの一参加団体としても協力することになっています。

協会として検討した結果、埼玉県立しらこぼと水上公園様から“かわりだね自転車”をお借りして、会場に来てくれた人たちに乗ってもらうことにしました。ぜひ遊びに来てください。（担当事業部山崎(UCC)）

ヤング・ジェネレーション '87は、下記のとおり開催されますのでお出かけ下さい。

日時 昭和62年11月23日(祝)

A.M. 9:30~P.M. 3:30

会場 浦和市・別所沼公園内

主な出展事項 郷土芸能、吹奏楽、歌声コンサート、腹話術、手品、かわりだね自転車、朝市等各種模擬店など。

< インフォメーション >

国際サイクルロードレース

スーパークリテリウムが開催される

テレビでしか見る事ができなかった本場ヨーロッパのプロ選手が日本でレースを行うことになりました。夢のようなビッグニュースですが、参加選手の名前を見ると、ツール・ドフランスを走り抜けてきた超一流のプロばかりなのでびっくりしてしまいます。みんなで観戦にいきましょう。

日時 11月22日(日) A.M. 10~

会場 国営昭和記念公園(東京都立川市)特設サーキット

競技種目 1.個人TT(プロ12名)

10:00スタート

2.ミス&アウトレース

(プロ12名)

11:00スタート

3.クリテリウムレース

(招待選手50名)

12:00スタート

参加選手 ステファン・ローシュ

シーン・ケリー

フランチェスコ・モゼール

モレノ・アルゼンチン

ジャン・F・ベルナール

ローラン・フィニョン

ペドロ・デルガド

エリック・バンデレルデン

等12名のプロ。

ほかに韓国、中国、米国、

欧州のナショナルチーム。

特別寄稿

#チャレンジ走破記#

恒例の浦和CC主催のチャレンジサイクリングが9月13～14日開催された。過去2回、私はサポート側での参加であったが、今回はいよいよ230K_mに挑戦する事になった。

9月13日(日)浦和を自動車で出発、一路南郷に向かう。すでに何度も行き慣れているとはいえ今回程緊張した時はなかった。早めに南郷に到着したので、足慣らしのため駒止峠途中まで走る。

恒例の焼肉パーティでは南郷村からアユ・御神酒、浦和市から御神酒の差入れがあったが、明日の事が気がかかりお酒の方はすすまなかった。

早く床に着いたがなかなか寝むれない。うとうとしている間に夜は明けだした。目をさますと既に山崎氏はトレーニングで一汗かいていた。

朝食もそこそこに出発時間を迎える。朝早にかかわらず南郷村企画観光課の目黒課長、馬場氏が見送りに来てくれる。

午前6時15分南郷ふるさとの家を出発、もう止めることは出来ない。まずは快調に飛ばし、1時間程で駒止峠に到着する。会津田島までひとこぎと思いきや、かなりの距離であった。山王峠の登りは駒止峠に比べればなんのことはない。

五十里湖をへて鬼怒川に向かう、少々アップダウンはあるが順調に走る。途中竜王郷で昼食タイムを1時間程とって出発、これから今市までが一番きつい行程だ。アップダウンが続き、日差しも暑い、今市～鹿沼までの杉並木は日光を遮ってくれてとても涼しかったが、路面状態が悪

く乗りごころは良くない。

栃木から古河に入る道路は今回、変更した田舎道なので思うようにスピードがでない。そろそろ疲れが出てきたせいでもあろうか、しかしあと100K_mはある。ここでリタイアはできない、関口女史も頑張っているのだから……。

古河の町を抜け埼玉大橋を通過し、やっと県内に入る。しかし時間は午後5時近かった。葛蒲町を過ぎるころにはすっかり暗くなり、ライトをつけての走行と、車ラッシュにぶつかり思うように走れない。白岡を過ぎると、あと一息という気持ちがベタリングを軽くする。伊奈町をすぎ大宮に入り、第二産業道路を南下して浦和市役所に到着する。予定時間を大幅に過ぎていたのに関わらずサービス課の大久保課長をはじめとする職員の方が待っていてくれ花束まで頂戴する。完走できた喜びに疲れも忘れてしまう。本当に230K_mを走破できたのだろうか？ 私にとってひとつの挑戦は終わった。

今回のチャレンジは時間より、全員協力して完走することを目的としていたので、その意味におい大変有意義なことであった。

サポート役に徹してくれた白川氏、過去2回の経験を生かし色々気遣ってくれた山崎氏、私のために自分を押え、走ってくれた田口氏・宮林氏、励みになった関口女史、アドバイスをいただいたUCCの面々、毎度お世話いただいている南郷村企画観光課・ふるさとの家・浦和市サービス課の人達にあらためて御礼申し上げる次第である。 渡邊廣次記

* 雑学アラカルト *

<日本のやきもの Part 2>

今回は、有田焼について少し紹介しましょう。

佐世保線の有田駅、ちょうど与野駅とその街並といった感のある田舎の駅であるが、ここがあの柿右衛門、やきもの街である。

前回に記したが、朝鮮陶工“李參平”が有田にて日本で初めての磁器を起こしたのは1616年と言われているが、日本へ来て20年後の事で、来日後、陶土を求めて転々と各地を回った末、有田の泉山地区で白磁鉢を発見し、色の白い、美しいやきものを作り始めたものであった。

その頃、喜三右衛門なる若者が白い肌を持ったやきものに憧れて南川原の地へ住みついた。その後、赤い色絵の魅力にとりつかれ、20余年を費やして赤絵の焼物に成功し、柿右衛門と改名したのである。これが赤の柿右衛門である。

この赤絵の技術は、秘法として他に漏らす事を藩が禁止していたが、いつの間にか他へ流出し、かなりの上絵師が生まれていた。藩ではその後、分業制を採用し、上絵、窯焼き、下作り等を別の人間が行う様にしたものである。

秘伝を盗んだ(?)側は、どんどん製品化して輸出していったものが古伊万里といわれている。

これ等の多くは日用雑器であったが、名もない陶工等が焼いたものを伊万里港から船積みされた所で付いた名前であり、外国では、オールドイマリと呼ばれている。

現在の有田焼は、高級指向の中にも庶民的なものが多くあり、近年では螢焼のようなものも生まれ、目を

楽しませてくれる。

薄学な程度で今回は終わり、次のテーマで逢いましょう。

UCC 水野 久夫

【事務局だより】

□事務局要員は次の方々です

11/7 川村 11/21 渡邊 11/29 原
12/19 築比地

□新春サイクリングはS63年 1月10日の予定です

≪編集後記≫

□めっきり秋らしくなり、サイクリングにはもっとも良い時期となりました。紅葉!!美味しい物を??求めてさあーでかけてみましょう。

□先日JCAで会員拡大委員会が開催されたが、各県とも会員減には頭を悩ませている。サイクリング人口が増えているにも関わらず協会登録者が増えないのはどうしてだろうか？。

協会に魅力がないと言うが、いちがいにそうとはいえず。今の自転車乗りは行事屋さんで、参加はするが自分で企画を立てることや、人の面倒をみるのはお嫌いのようだ。かっこよいファッションとして自転車に乗っているに過ぎない。かつてのスキー・テニスファッションが街にあふれたようにそれだけで終って欲しくないものだ。

